



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

さよなら原発に1万人

3月21日、東京都渋谷区の代々木公園で、3・21さよなら原発全国集会が開催され、1万人が参加しました。プレコングサートでは李政美さん。集会では、鎌田慧さん、落合恵子さん、福島避難者の代表、東海村、原発ゼロ法案の国会議員、沖縄、総がかり行動実行委員会が発言。その中で、経産省前テントひろばのリーダー 洲上太郎さんが前日逝去されたことが報告されました。日音協や反原発うたいたいは何度も経産省前テントひろばで歌っていたので、悲しいお知らせに驚きました。

集会は、別掲のアピールを採択。参加者はデモ行進で脱原発と被災者の支援を訴えました。

(松本敏之)

送り出し演奏の醍醐味

集会に先がけて日音協テントではミニコングサートを開催。全員での『風車の唄』を皮切りに、反原発うたいたい、合唱団ミール、くまご、ういみん、小金井俊弥(フジビグループ分會)、狭石啓子、Reo & Tasoが演奏しました。強風で譜面台があらわれテントさえ揺れる日でしたが、歌っていると、立ち止まりじっと目を向ける人も多くいました。植え込みの縁に座って、ずっと聞いてくれていた姿もありました。ハンケル文字のプラカードを持ったふたり連れが、興味深げに笑顔を向けてくれました。プログラム最後の全員合唱『あたりまえの地球』でしたが、ちょうど集会参加者が増えてくる時間。急きょ出迎え演奏に切り替え、メイン



ステージの開会時間ま



でうたい続けました。

パレード送り出しでは目の前に停まった隊列の人たちと歌い交わす場面もあり、久しぶりに送り出し演奏の醍醐味を満喫。いつもはドラムと強いコールの

一団が、私たちの前ではコールを控え、歌に合わせてリズムを刻んでくださるなど、心遣いも嬉しく感じました。

福島から参加された南條さんや鈴木さんにはフル回転でお手伝いいただきました。ありがとうございました。

(東京都支部 森理子)

■集会アピール

福島第一原発事故から8年が過ぎました。今日、私たちは、原発事故の収束が遙か遠くにあること、事故のもたらした影響はいまだ深刻であり、被災者ははじめ多くの関係者を、深く傷つけていることを知りました。安倍政権は、オリンピックに向けてフクシマを無かったことのように、全ての事実を覆い隠そうとしています。そのことは被災者を切り捨てるものであり断じて許すことはできません。フクシマを忘れ去ることは、第二第三のフクシマを引き起こすことにつながるものです。

現在、26基の原発が廃炉決定または予定となっています。原発は今、確実に「廃炉の時代」を迎えています。電力各社は、9基の原発を再稼働させていますが、東海第二原発などはじめめとして再稼働をめぐる状況にはきびしいものがあります。また原発の新増設・リブレースも、脱原発の大きな声の前には困難です。原発や関連施設の老朽化、廃炉作業の遅延、使用済み燃料の最終処分など、困難を伴った山積問題が山積しています。原子力政策が、今後好転する見込みはありません。原発が動けば動くほど核のこみは増え、原発事故の危険性と背中合わせに暮らさなければなりません。だからこそ原発再稼働よりも廃炉が強く求められていることは明らかなのです。原発・核燃料サイクルは、そのリスクやコストを考えると経済的合理性がないことは明確であり、原子力の存立意味そのものが問われています。いまこそ政治の責任において、原発のない社会をどのようにして作りあげていくのかを徹底的に議論すべきです。

昨年3月9日「原発ゼロ基本法案」は、立憲民主党、日本共産党、社会民主党、自由党のほか無所属の議員有志によって、衆議院に提出されました。法案は、「すべての原発を速やかに停止し、法施行後5年以内に廃炉を決定する」「原発の再稼働はせず、新増設・リブレースは認めない」「使用済み核燃料再処理・核燃料サイクル事業は中止する」「放射性廃棄物・プルトニウムの管理と処分を徹底する」などを基本とするものです。その法案は、提出以降、今日まで衆議院の経済産業委員会でも一度も審議がなされないうままとなっています。現在、委員会の多数を占める与党などによって、審議が拒否され続けています。7月に衆参同時選挙になれば、衆議院解散でこの法案は、一度も審議されないうまま廃案となってしまうのです。

安倍自公政権は、エネルギー基本計画を改訂し、いまだ強引に原子力推進政策を進めています。が、実態は、再稼働、核燃料サイクルは行き詰り、アベノミクスの中心であった原発輸出は、次々と頓挫しています。このような状況を真摯に認め、原発のない社会にむけての議論を開始することが、日本の未来にとっての重要な課題です。「原発ゼロ基本法案」の審議を直ちに開始して、新しい再生可能なエネルギー社会を実現しましょう。私たちは国政の場で、フクシマの課題の解決にむけて、脱原発社会の実現にむけて、真摯な議論がなされることを強く求めます。

2019年3月21日
さよなら原発全国集会参加者一同



亀戸駅前での演奏

3月25日は辺野古新基地建設のために新たなエリアへの土砂投入が予定されています。

そこに向けて「辺野古の海を土砂で埋めるな！首都圏連絡会」(略称『埋めるな連』)は連続行動を呼びかけ、3月23日(土)には首都圏のたくさんの駅で一斉に街宣行動を行いました。この日だけで22駅、日をずらして7駅が予定され、全部で29駅です。日音協は亀戸駅前を担い、江東市民連合など、亀戸近辺で活動している団体が合流しました。

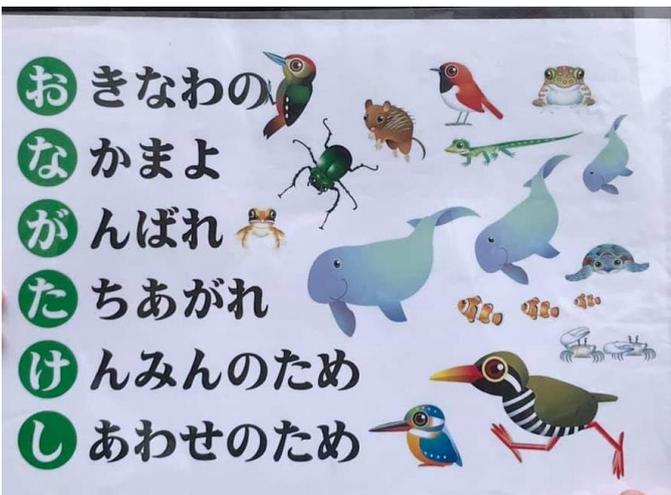
前日とうってかわって冷え込む中、日音協関係9名、その他7名の参加で、歌を交えながらのアピールを元気に行いました。参加者の中には、ネットで見て参加されたという方も複数いらっしゃいました。

200部用意したリーフレットはほぼ配りきることができました。人数が多いとやっぱりすごいです。受け取りもよく、沖縄への関心の高さがうかがわれます。締め言葉の際、そのこともしっかりアピール。報道が偏るなか、沖縄を応援することは普通のこと、あたりまえのこと、そんな多数派アピールは必要だと考えます。

ネットで行動を知って参加したという与那国島出身の方が、マイクを持って沖縄の基地のことを話してくださいました。嘉手納の広さ、北部訓練場がベトナム戦の対ゲリラ訓練地だったこと…。いつかゆっくり時間をとって聞いてみたいお話しでした。

写真は江東から参加の方の撮影です。

このあと24日(日)には首都圏大集会、25日(月)は官邸前座り込みが行われました。(森理子)



#0323 辺野古を埋めるな 駅頭一斉行動
★駅頭いっせい行動★

3月23日(土)

- ◇各駅前でそれぞれがアピールすることを呼びかけます。
- ◇場所・時間等をお知らせ下さい。
- ◇配布するリーフレット等、利用できるにします。
- ◇現在予定されている駅頭宣伝行動は以下の通りです。
お近くのみなさんは参加・ご協力ください。

東京でもがんばっています

★11時から12時 JR 亀戸駅北口
主催 日本音楽協議会

- ★11時から12時 JR・東京メトロ中野駅北口
主催 中野 協同プロジェクト
- ★11時から JR 有楽町マリオン前
主催 中部地区労働者交流会
- ★11時から JR 中野駅北口
主催 中野 協同プロジェクト
- ★11時30分から13時 JR 立川駅北口
主催 三多摩労組争議団連絡会議
- ★12時から JR 秋葉原駅中央口
主催 中部地区労働者交流会
- ★12時から JR 品川駅高輪口
主催 南部地区労働者交流会
- ★12時から JR 蒲田駅
主催 南部地区労働者交流会
- ★12時から13時 池袋駅東口
主催 戦争法廃止・安倍たおせ！反戦実行委員会
- ★13時から14時 京王線高幡不動駅南口
主催 今と未来を考える会(日野市)
- ★14時から JR 川越駅東口・西口
主催 辺野古テントと川越を結び会
- ★14時から JR 渋谷駅ハチ公口
主催 平和をつくり出す宗教者ネット
- ★14時半から JR 中野駅北口
主催 沖縄への偏見をあおる放送を許さない市民有志
- ★15時から 新宿駅西口
主催 憲法9条を壊すな！実行委員会
- ★15時から JR 恵比寿駅西口
主催 労働運動活動者評議会
- ★15時から JR 柏駅南口
主催 エナガの会
- ★15時半から 西武線所沢駅東口
主催 島ぐるみ会議と埼玉を結び会
- ★16時から JR 川崎駅東口
主催 沖縄の映画を観よう！かわさき
- ★16時から 横浜駅西口高島屋前
主催 島ぐるみ会議と神奈川を結び会
- ★17時から18時 町屋駅頭で
主催 平和憲法を守る荒川の会
- ★17時から JR 金町駅南口
主催 戦争協力にNO！葛飾ネットワーク
- ★18時半から19時半 西武線石神井公園駅中央口
主催 語やびら沖縄 もあい練馬
- ★18時半から JR 日暮里駅東口
主催 アジア共同行動首都圏



◇23日前後にも一斉行動に連携した取り組みがあります。

- ★20日(水) JR 北千住駅西口 18時半から
主催 沖縄の闘いと連帯する東京東部集会実行委員会
- ★24日(日) JR 赤羽駅 11時から
主催 沖縄の闘いに連帯する関東の会
- ★同日 小田急・相鉄線海老名駅東口 14時から
主催 バスストップから基地ストップの会
- ★同日 JR 名古屋駅 14時から
主催 日米地位協定改善を求める47プロジェクト
- ★同日 JR 鶴見駅西口デッキ 15時から
主催 平和と民主主義をともにつくる会・かながわ
- ★27日(水) JR 松戸駅東口 13時半から
主催 松戸「沖縄とつながろう会」
- ★29日(金) JR 大井町駅 17時半から
主催 沖縄の闘いと連帯する東京南部の会

盛岡でコンサート

岩手県支部の高橋円です。

5月4日(土)に盛岡市民文化ホールで私が主催する「ポラーノの広場音楽会」に、日音協岩手県支部が出演します。

この演奏会は、地域の方に気軽にホールコンサートを楽しむことと、岩手県にゆかりのある音楽愛好家の交流を深めることを目的に、年に1回開催しているものです。

小さい子どもさんからご年配の方まで、幅広い層の来場者が毎年来ています。

また、私が特別支援学校に勤務していることもあり、障がいをもった方も一緒に鑑賞を楽しんでいます。



毎年1名ずつ増えて6名が参加 若い会員の交流会

若い会員の交流会は、秋田の木下知久さん、栃木の鳴澤庸夫さん、今回初参加の竹内崇史さん、東京の田中珠萌さん、長野の青木瀬奈さんに岩手の高橋円の6名の参加でした。三年前、3人でスタートしてから毎年1名ずつ増え、今年は過去最高の6名です。第一回から関わってきた者としては、嬉しい限りです。

今回取り組んだ曲は、日音協ソングから、今回のセミナー講師であるまとはさんとの出会いに焦点をあてて「祖国はひとつ」、同じく日音協ソングから木下さんが好きなビートルズの替え歌で「ひでえ日だったぜ」、珠萌さん一押しの1曲「大丈夫」(作詞・作曲：斉藤和義)の3曲。6人の得意なことや個性を生かして、一曲毎に歌割り、コーラスワーク、楽器編成、アレンジ…とセッションを繰り返しながら最終日の成果発表に向けて練習を繰り返しました。

途中、軽妙トークで脱線し交流を深めたのも楽しい思い出です。また、「祖国はひとつ」の発表に際しては、忙しいまとはさんをつまえて曲の事を聞く機会をいただけたのも貴重な機会でした。また、鳴澤さんと木下さんによるコードの勉強会もあり、アカデミックな学習ができたのも成果です。

今回の成果を9月に秋田の音楽祭で全国の皆さんに披露することと、来年更にメンバーを一人でも増やすことが当面の目標です。また、同時開催のセミナーの皆さんの熱量に刺激を受けて、来年は創作もできると嬉しいな…と密かな野望も胸に秘めつつ…全国の沢山の若い会員が音楽で繋がることを信じて、日々の活動に励んでいきたいと思えます。

(高橋円)

第3回 ポラーノの広場 音楽会

プログラム(予定)

第1部 合唱(日本音楽協議会 岩手県支部)

♪ポラーノの広場の歌

ピアノ連弾(ピアノ:高橋 円・谷井進策
カホン:大光純)

♪パイレーツ・オブ・カリビアン

♪ホール・ニュー・ワールド ♪スマイル

第2部 弦楽アンサンブル(こいのぼりカルテット)

♪弦楽四重奏 17番「セレナーデ」(ハイドン作曲)

第3部 打楽器アンサンブル(演奏:ポラーノの広場音楽会)

スペシャル打楽器合奏団

+盛岡パーカッションアンサンブル)

♪スタジオジブリ・メドレー

♪バレエ音楽「ガイヌ」より

その他、楽しい曲がいっぱい!



5月4日(土)

開場 13時 開演 13時30分

盛岡市民文化ホール 小ホール

入場料 前売500円

当日600円(未就学児無料)

プレイガイド 東山堂クロステラスセンター/伊藤楽器店/安倍管楽器 SERVICE/カワトク/
アネックスカワトク/フェザン/マリオスインフォメーション

主催 ポラーノの広場音楽会 実行委員会

後援 盛岡市教育委員会 岩手日報社 盛岡タイムス社 テレビ岩手 IBC 岩手放送

めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手 ラヂオ・もりおか

連絡先 090-9036-6637 (高橋)



小ホール

盛岡市民文化ホールは、JR盛岡駅そばにあります。



右端が筆者の高橋円さん

マーチ・イン・マーチ2019

3月3日(日) 13時〜 上野公園水上音楽堂において、『ここに生きる―多民族・多文化共生社会マーチ・イン・マーチ2019』が開催されました。

東京都支部はこの間の行動に協賛し、歌でも参加してきました。



た。

多国籍の労働者が集まります。外国人労働者の実態からの訴え、さまざまな文化に触れることができました。以下、実行委員会チラシより (森理子)

いま、アジア、ラテンアメリカ、北アメリカ、ヨーロッパ、アフリカの

国々から150万人を超えるといわれる移住・外国人労働者が日本に働いています。外国人労働者は、この5年連続で増加し、国際結婚や外国にルーツを持つ日本人も増えています。

日本政府は、人手不足を大義名文に、入管法改定案を強行採決で成立させ、人権侵害や労働災害が頻発している奴隷労働構造の技能実習制度を横滑りさせた在留資格「特定技能」を創設しました。移住・外国人労働者の労働実態は、劣悪な労働条件の差別的な処遇がまかり通り、人身売買も横行しています。

今年も私たちは、2019春闘の一環として、マーチ・イン・マーチに取り組みことで、日本で働くすべての労働者の権利と、その上で日常的な差別にさらされている移住・外国人労働者の権利の改善、向上を訴えます。

多国籍の仲間が連なるマーチ・イン・マーチは、多民族・多文化共生のコンサート集会とでもです。



原発事故を風化させるな

3月17日、福島県民大集会に参加した経緯は、現在後藤が地元大仙仙北地域の平和運動推進労組会議の幹事をしていること、これまでも意識して参加してきたこと、動員要請に積極的に応じたことによるもので、往復13時間現地滞在3時間の弾丸動員でした。

集会では原発事故からの復興の現状やこれからの課題など依然として多くの問題が解決されずにいることの要因は、原発事故を軽微なものに印象操作しようとする御用学者やマスコミ、そうした世論操作を背景にした東電や政府の無責任な対応にあることが改めて指摘され、原発事故の責任追及や被災者の生活支援などを求める闘いと生活協同組合の復興への取り組みが報告されました。

公的支援では自主避難した者に対する支援の在り方に、「核災棄民」という言葉もうまれているなど被災者支援が不十分なままになっている現状がある一方で、マスコミの報道は福島でオリンピックの聖火を走らせることや帰宅困難地域を解除したこと、Jピリッソの整備などを報道するものの、いまだに5万人を超える避難住民が福島県の内外にいることや廃炉作業がほとんど進んでいないこと。除染した核汚染物やメルトダウンした原子炉の冷却水などが溜まり続けていること。農林水産物の風評被害で苦しんでいる生産者のことなどはあまりにも報道されることが少ないことについては、できることなら原発事故があったことを忘れて欲しいという思惑が強く働いていると感じました。

ここからは後藤の私見ですが、そこには原発を輸出産業にして大もうけしたいとする思惑や安全をPRすることでインバウンドを促進して大もうけをしたいとする思惑。公的支援を打ち切りたいとする思惑や被曝健康被害を覆い隠したいとする思惑などが渦をまいて、巨大資本が大もうけするためには犠牲はやむを得ないとする資本主義の病理があるからだと思います。

と他人事のように書いている後藤はどの立ち位置にいるのか。後藤の日常の意識の在り方はどうなのか。複雑な思いもありますが、1年365日のうち何日原発事故やフクシマに思いを馳せることがあるのかと思えばこの1日は大切にしなければならない日になりました。

いまのところ、後藤が感じたことを歌にするには難しすぎるなあ・・・ (幹事・後藤雅裕)

曲の紹介「一台のリヤカーが立ち向かう」

『一台のリヤカーが立ち向かう』

作詞・作曲 中川五郎

- 1 一台のリヤカーが立ち向かう
アンプやスピーカー積んだ
リヤカーが立ち向かう
横須賀の町に核を持ち込むな
横須賀の海に戦争の船を許すな
リヤカーと歌い続けた男
大きな世界を変えるのは
一人の小さな動きから
- 2 一艘のシーカヤックが立ち向かう
中国電力の船に立ち向かう
漁師たちの命の海を奪うな
上関に危険な原発はいらない
一艘のシーカヤックで抗議する若者
大きな世界を変えるのは
一人の小さな動きから
- 3 一個の石つぶてを投げつける
戦車や軍隊に向かって投げつける
ここは僕らが生きてきた場所
ふるさとや歴史を守るインティファダ
一個の石つぶてを投げる子どもたち
大きな世界を変えるのは
一人の小さな動きから
- 4 一人の女性がバスの席に座る
黒人と白人に分けられたバスの席に座る
「立て」と言われても警官がかけつけても
彼女は「NO」と言って座り続けた
その闘いから公民権が生まれた
大きな世界を変えるのは
一人の小さな動きから
- 5 一台のギターが立ち向かう
弱い者いじめの国家や金持ちに立ち向かう
ウディ・ガスリーはギターボディに書いた
このマシンはファシストを壊滅させると
一台のギターが美しい音をひびかす
大きな世界を変えるのは
一人の小さな動きから
- 6 一台のギターが立ち向かう
独裁者の軍事政権に立ち向かう
スタジアムに連行され腕をへし折られても
ヴィクトル・ハラは殺されるまで歌い続けた
一台のギターがたくましい音をひびかす
大きな世界を変えるのは
一人の小さな動きから
- 7 一人の手じゃ牢獄は壊せない
二人の手でも牢獄は壊せない
でも二人が100人、
1000人、100万になれば
牢獄は壊せる
そんな日が来る
- 8 一台のリヤカーが立ち向かう
アンプやスピーカー積んだ
リヤカーが立ち向かう
横須賀の町に核を持ち込むな
横須賀の海に戦争の船を許すな
リヤカーと歌い続けた村松俊秀
大きな世界を変えるのは
一人の小さな動きから
リヤカーと歌い続けた村松俊秀
大きな世界を変えるのは
一人の小さな動きから
一人の小さな動きから
一人の小さな動きから
一人の小さな動きから

出典：弁護士・金原徹雄のブログ(2013年2月3日)より

(若干の注釈)

- 2番 中国電力の船に立ち向かった「シーカヤック」については、説明の必要もないでしょうが、以下のサイトなどを参照してください(最近あまり更新されていませんが) (*アカウント停止になっているので、URLは略しました。)
- 3番 「インティファダ」 日本では、通常パレスチナにおける民衆蜂起(1987年～、2000年～)を指すようです。
- 4番 公民権運動の象徴となった「ローザ・パークス」を歌ったもの。
- 5番 「ウディ・ガスリー」 米国のフォークシンガー(1912年～1967年)。代表曲は『我が祖国』。
- 6番 「ヴィクトル・ハラ」 チリのシンガー・ソングライター(1932年～1973年)。ピノチェトによるクーデターでチリ・スタジアムに連行され、多くの市民とともに虐殺される。ホー・チミンを歌った『平和に生きる権利』の作者であり、この曲は、ソウル・フラワー・ユニオンによってカバーされました。他に、日本では加藤登紀子が歌った『アマンダの思い出』などが有名です。
- 7番 この部分だけメロディーが変わりますが、おそらく、関西フォーク全盛の時代によく歌われた『一人の手』(原曲ピート・シーガー)の一種の「引用」だと思います。本田路津子(ほんだ・るつこ)版がYouTubeで聴けます。

「音楽」カテゴリの最新記事

志田陽子さん(武蔵野美術大学教授)公演「歌でつなぐ憲法の話～憲法に託された夢と希求」(2019年1月14日@新宿区角筈区民ホール)を視聴す/神戸から勇気と力を!～森松明希子さんのお話と川口真由美さんのライブから(〈生きる権利を求めて〉阪神淡路大震災24周年集会)/シンポジウム「安倍政権にかわる新しい選択肢」(2018年11月28日)についての市民連合からの「報告」/憲法ソング「わたしのねがい」(日弁連・憲法詩(ポエム)大賞受賞作+谷川賢作)をDiVaの演奏で聴く/志田陽子さん(武蔵野美術大学教授)講演「安民法制違憲訴訟における平和的生存権・人格権」と『虚空(そら)の名前』など3曲の演奏を聴く/そう列車が走って70年 和歌山ぞつれっしゃ合唱団 団員募集!(公演予定日:2019年7月27日)/中川五郎さんのライブ・アルバム『どうぞ裸になって下さい』収録曲の半分をYouTubeで視聴する～非公認プロモーション・ブログ/中川五郎さんのバラッド「関東大震災朝鮮人差別三部作」をあらためて聴く/井上ともやすさんの『どこへ行くアメリカ』を聴く～「イットク フェス 2018!!」スピンオフ第2弾/中川五郎さんの『ピーター・ノーマンを知っているかい?』を聴いて考える～自分もピーターになれるだろうか?/第2回「言っとくけど、俺の自由はヤツラにやらねえ!ロック・フェスティバル」(イットク フェス 2018!!)を視聴する/憲法と「アート」が交わる場所～法学館憲法研究所「アートな憲法ルーム」に注目! /日弁連<日本国憲法企画>「夏休み憲法教室 中山加奈子さん(プリンセス プリンセス)と一緒に憲法を詩いましょう♪」のご紹介/伝説のグループ「なつお meets 南風」が呼びかける「CDをゲットして西日本豪雨災害支援に協力を!」のご紹介～よろしくお願ひします/「第二回 ラブ&ピースライブ 和歌山～平和を祈るコンサート」(2018年7月29日@ライブハウス OIETIME)への再度のお誘い

歌の方が物語るもの 76

官邸前反原発行動 3/15 (337回) 報告 鈴木

参加者 葉子、達哉、「コミネツチ、民衆の歌の女性、スーさん、スーさんの友達2人 鈴木 計8名

「今日は何人来るかな」と葉子さんと二人で歌い始めるとスーさんが来た。21日の練習をしよう、葉子さんが、スリッパを持って来てくれた。

一通り練習しよう、歌っていると、「久しぶりだね。」とスーさんの知り合いの方が声をかけて来た。「歩くのがやっただよ」と言いながらスーさんの持っていた歌詞カードを見ながら歌ってくれた。そして、立ち去ったが、また戻って、もう一曲歌って行ってくれた。

『DO! 廃炉』のムチの音

水道橋 だより

▼「私は誤った発言をしました。タンポボ舎さんで、『DO! 廃炉』をやったときに『本邦初演』と言ったのは全く事実と反するので削除してください。急にMCのマイクを渡されて、あせってしまったのです。」と、葉子さんから律義に訂正の依頼がありました。確かに富山音楽祭での北海道の演奏は鮮烈でしたが、たんぼ舎前では初演だったので、あまり気にしないでください。(佐藤)

▼それにしても、あらためて東京都支部の連日の行動には頭がさかります。それでいて体調が悪いときや仕事で休みがとれない時は無理をしないなど、お互いにフォローしているようですね。精神的にも疲れないようにしましょうね。(佐藤)

▼秋田音楽祭は現地実行委員会の事務局資料は綿密に企画されているようですが、統一自治体選挙が終わらないと実行委員会で確認できないようです。▼さしあたっては、ホテルの予約がなかなか取れないようですので、早めに確保しておいてください。(佐藤)



しても歌いたいと替え歌を歌ってくれました。今日、始まる時にはどうなるかと思いましたが、皆様のおかげで、終わる頃には、「ニコニコの鈴木でした。」

今日は、民衆の歌の定例会でした。先週よりも沢山集まっていました。

民衆の歌のトランプット演奏がとて素敵でした。コミネツチは、小さなアコーディオンを持って来ていました。アコを弾いていましたが、早く、森さんのように、弾き語りが出来るようになるといいのになと思いました。民衆の歌は、月一回の定例会をやっていますので、参加されたい方は、是非どうぞ。

上野さまから新しい替え歌が届きましたので添付します。『ダイナミック琉球』の替歌『ダイナミック辺野古』です。スーさんに、歌詞カードをお渡し

した所、「海よ」と歌い始め、「後ろの方は難しいんだよ」と言っていました。元歌はYouTubeに載っているとの事ですので、みんなで見えましよう。

「ダイナミック辺野古」

海よ 辺野古の海よ

ジュゴン泳ぐチュラ海よ

オキナンチュー

こころは ひとつ

辺野古の 海を守れ

(かけこえ)

わしがくにさの 海を守らん
わしがくにさの 空を守らん
わしがくにさの子ども守らん
アメリカべったり
安倍はノンノン

どん行

(117)

飯島貞親

で、改憲を当然のことと思わせるのが狙いなのだろうか。

▼改憲案の国会発議に向けて動き出しそうだが、そんな中、とんでもない歌が創られた。▼「自民党安保政策の名物職員」「安保政策・憲法に精通」と言われている田村重信氏の「憲法改正ソング」だ。タイトルは「憲法よりも大事なもの」。このタイトルからしても憲法軽視が甚だしい自民党の姿勢がにじみ出ている。その歌詞は、「いつまでも同じ服は着られない。大人になったらもう着替えよう」「辛い現実から目をそらしたままで生きてゆくのは臆病だから」。▼憲法を服にたとえる感覚も「辛い現実」が何のことも指しているのかもさっぱりわからないまま、「憲法なんてただの道具さ、変わる」と恐れなくて明日のために」と続いている。憲法は「ただの道具」とは恐れ入った。言うまでもなく憲法は国のあり方を定めた最高法規であり、国民の権利や自由が制限されないよう国家権力を縛る、国民にとってきわめて大切なものだ。さらに「誰かの助けを待たない。自分の力で立ち上がる」とも。護憲を主張する者イコール臆病者というレッテルを貼り、もはや憲法改正がすすんで「戦争できる国づくり」であることを隠そうともしていない。▼軽快なメロディにのせて、改憲を当然のことと思わせるのが狙いなのだろうか。